

# Deutsches Filmfestival in Osaka

日時: 2022年8月11日 (木・祝)

10:00~19:00

場所: OIT梅田タワー 常翔ホール



ドイツと日本  
Zukunft gestalten  
ともに未来へ

## ドイツ映画祭

2021年、ドイツと日本の間で修好通商条約が結ばれてから160年を迎えるにあたり、日独交流160周年のイベントとして2020年にドイツ映画祭を初めて開催、その翌年の2021年には2日間にわたって開催し、好評を得ました。

皆さまからの熱いリクエストに応え、ドイツ総領事館では今年も「大阪ドイツ映画祭2022」を開催します。

© www.osakabox.com

申し込み: 下記URLまたはQRコードより、上映作品毎に申込み要 (先着順)  
[www.japan.diplo.de/event20220811](http://www.japan.diplo.de/event20220811)

対象: 中学生以上

入場無料

上映開始後の入場禁止

主催: 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

協賛: 一般財団法人 山岡記念財団



感染予防と流行拡大防止のため以下の対策を実施いたしますのでご協力ください。

ご来場の際、会場内では必ずマスクを着用下さい。ご着用いただけない場合、映画のご鑑賞をお断りいたします。  
入場時の検温と手指の消毒にご協力をお願いします。発熱のある方、体調不良の方のご入場はお断りいたします。



🌅10:00 - 11:40 (開場 9:30)

## 50年後のボクたちは (Tschick)

2016年 / 監督 ファティ・アキン / 93分 / ドイツ語・日本語字幕

マイクは14歳。クラスメイトのタチアナに片思い中だが、臆病者で話しかけることができず、クラスでもはみだし者。ある日、ロシアのかなり遠い所からやってきた転校生チチャチョフは、目つきが悪く、変な髪型で二日酔い。とんでもない奴がやって来たと、転校生・チックの噂はすぐさま学校中に広まった。夏休みのある日突然、チックがどこからか借りてきただけらしい怪しい青いオンボロのディーゼル車“ラーダ・ニーヴァ”に乗ってマイクの家にやってきた。「ドライブに行こうぜ」そして2人はチックの祖父が住んでいるという“ワラキア”を目指して旅に出た。トラブルに遭遇しながらも途中いくつもの出会いと別れを繰り返し、やがて無鉄砲なこの旅は、2人にとって一生忘れることのできないものになっていく――。

🌅12:10 - 14:10 (開場 11:50)

## はじめてのおもてなし (Willkommen bei den Hartmanns)

2016年 / 監督 サイモン・バーホーベン / 116分 / ドイツ語・日本語字幕

ミュンヘンの閑静な住宅地に暮らす、裕福で社会的地位もあるハートマン一家。ある日のディナーの席で、母アンゲリカが難民の受け入れを宣言。教師を引退して生き甲斐を見失った彼女は、夫リハルトの反対を押し切って、ナイジェリアから来た難民の青年ディアロを自宅に住ませる。家族ははじめてのおもてなしに張り切るが、大騒動が起きてしまう。さらに、ディアロの亡命申請も却下に…

お互いを理解できずにバラバラになっていたハートマン家の人々。難民の青年との出会いをきっかけに人生を見つめ直し、生きる喜びを取り戻していく心温まる物語。

🌅14:40 - 16:30 (開場 14:20)

## 陽だまりハウスでマラソンを (Sein letztes Rennen)

2013年 / 監督 キリアン・リートホーフ / 105分 / ドイツ語・日本語字幕

元オリンピック選手で伝説のランナー・パウルは、最愛の妻の病気をきっかけに夫婦で老人ホームに入居する。70歳を越えても心身共に健康なパウルは子供だましのレクリエーションや規則にとられる施設側の態度に耐えられず、ウン十年ぶりに走り始める。目標はベルリン・マラソン完走! 呆れ顔だった妻も、パウルの熱心な姿に影響されて名サポート役に復帰。个性的でチャーミングな入居者たちはにわか応援団を結成し、ホームは賑やかに変わっていく。ところが、大会が近づいたある日、妻が倒れる! 最大の理解者を失って動揺するパウルを施設は「老人性うつ」と診断。自由に走ることを許されない状況に。

🌅17:00 - 18:50 (開場 16:40)

## アイム・ユア・マン 恋人はアンドロイド (Ich bin dein Mensch)

2021年 / 監督 マリア・シュラーダー / 107分 / ドイツ語・日本語字幕

ベルリンのペルガモン博物館で、楔形文字の研究に没頭する学者アルマ。研究資金を稼ぐため、とある企業が極秘で行う特別な実験に参加することに。そこに現れたのは紺碧の瞳でアルマを熱く見つめるハンサムな青年トム。初対面にもかかわらず、積極的に口説いてくる彼は、全ドイツ人女性の恋愛データを学習し、アルマの性格とニーズに完璧に応えられるようプログラムされた高性能AIアンドロイドだったのだ! トムに課されたミッションは、“アルマを幸せにすること”、ただひとつ。実験期間は3週間。献身的でロマンチックなトムのアルゴリズムは、過去の傷から恋愛を遠ざけてきたアルマの心を次第に理解していく。